

平成30年度 第2回 長野市学校給食センター等運営審議会 次第

平成30年12月11日（火）

午後2時～3時

第四学校給食センター

1 開 会

2 あいさつ

3 諮 問

4 審 議

平成31年度給食費について

5 閉 会

平成30年度 長野市学校給食センター等運営審議会 委員一覧

任期 平成29年6月7日から平成31年6月6日まで

(敬称略・順不同)

| 区分 | 委員氏名 | 所属団体 | 備考 | 出欠 |
|---|-------|--------------------|-------|----|
| 経験者 学識者 | 吉岡 由美 | 長野県短期大学専任講師 | 職務代理者 | 出席 |
| | 馬島 園子 | 長野県栄養士会理事 | | 出席 |
| 関係者 P T A 関 係 者 | 池内 尚美 | 川中島中学校PTA副会長 | | 出席 |
| | 湯本千佳子 | 裾花小学校PTA副会長 | | 出席 |
| | 山口 恵 | 朝陽小学校PTA副会長 | | 出席 |
| | 塚田 公英 | 戸隠小学校PTA副会長 | | 出席 |
| | 樋口美智子 | 鬼無里小中学校PTA副会長 | | 出席 |
| | 宮嶋やすえ | 大岡小中学校PTA副会長 | | 出席 |
| | 原田 景子 | 信州新町小学校PTA副会長 | | 出席 |
| | 野中ゆかり | 中条中学校PTA副会長 | | 出席 |
| 学 校 長 | 河原 節子 | 清野小学校長 | | 出席 |
| | 片山 洋一 | 安茂里小学校長 | | 出席 |
| | 千野 和江 | 柳原小学校長 | 会長 | 出席 |
| | 伊藤 茂 | 戸隠小学校長 | | 出席 |
| | 山森 俊浩 | 大岡小学校長 | | 出席 |
| | 小山 正博 | 信州新町中学校長 | | 欠席 |
| | 高池 一昭 | 中条中学校長 | | 出席 |
| 医 学 ・ 校 医 薬 劑 ・ 歯 科 師 範 科 | 宮川 恭一 | 長野市医師会学校保健委員会 副委員長 | | 欠席 |
| | 小林 博昭 | 長野市歯科医師会 副会長 | | 出席 |
| | 松田 賢一 | 長野市学校薬剤師会 副会長 | | 欠席 |
| 機 行 関 政 | 高木 正明 | 長野市保健所 食品生活衛生課長 | | 出席 |
| 公 募 委 員 | 菊地佐千子 | 公募委員 | | 出席 |
| | 櫻井 泉 | 公募委員 | | 出席 |

給食費の改定について

1 諮問の主旨

長野市の学校給食は、安全・安心の観点から原則として国内産・無添加の食材を使用しております。また、食育の推進のため、市内産・県内産を優先して購入するなどして地産地消に努めております。

学校給食費は、平成 21 年 4 月に副食食材価格の動向を考慮して改定し、平成 26 年 4 月には消費税率引き上げに伴い改定いたしました。その後、給食食材（主食・牛乳・副食）価格は上昇しております。

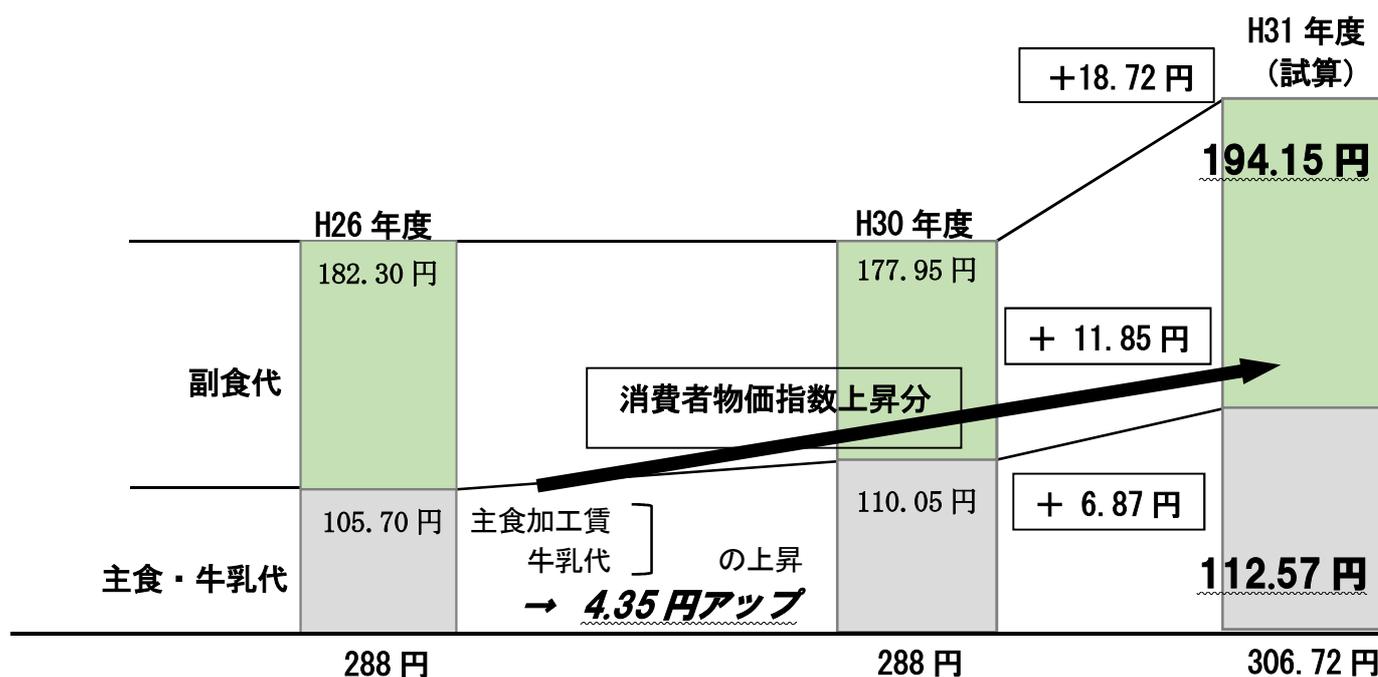
戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条の各学校給食共同調理場においては、食材の購入価格が学校給食センターと比較すると割高である現状です。

こうした状況に対し、学校給食センター及び学校給食共同調理場では低価格の食材の使用や献立の工夫などにより栄養面が維持できるよう対応してまいりました。

しかし、今後も食品価格の上昇が予想される中、改定された学校給食摂取基準にも対応しなければならないことから、運営は厳しい状況となるものと考えます。

つきましては、安全安心でおいしい給食を安定的に供給するため、給食費の改定を諮問したものであります。

2 給食費の現状



| | <改定> | | | | | <改定> | | | | | (円) |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | 26→30 |
| 主食 | 49.83 | 50.00 | 48.94 | 50.95 | 52.02 | 52.25 | 50.97 | 51.96 | 53.20 | 54.82 | ↑ 2.57 |
| 牛乳 | 46.50 | 46.42 | 47.69 | 48.78 | 50.43 | 53.45 | 54.98 | 53.71 | 54.45 | 55.23 | ↑ 1.78 |
| 副食 | 183.34 | 183.25 | 183.04 | 179.94 | 177.22 | 182.30 | 182.05 | 182.33 | 180.35 | 177.95 | △ 4.35 |
| 合計 | 279.67 | | | | | 288 | | | | | |

※第二・第三・第四学校給食センターの小学校低学年・高学年、中学校の給食費平均値

3 学校給食の基本的な考え方

(1) 長野市の学校給食食材について

① 安全・安心な給食の提供

食材は原則として国内産を使用する。また、加工品についても、原則として国内加工品を使用する。

② 地産地消の推進

給食食材の購入に当たっては、できるだけ市内産・県内産を優先とする。

(2) 学校給食実施基準の一部改正（平成 30 年 8 月 1 日施行）

- ・多様な食品を適切に組み合わせて、各栄養素をバランス良く摂取しつつ様々な食に触れることができるようにすること。
- ・各地域の実情や家庭における食生活の実態把握の上、日本型食生活の実施、実施、伝統的な食文化の継承について十分配慮すること。
- ・カルシウムの摂取に配慮すること。
- ・児童生徒が学校給食において摂取することが期待される栄養素等を勘案し、児童生徒の健康の増進及び食育の推進を図るために望ましい栄養素を算出した**学校給食摂取基準**について、「エネルギー、鉄、ビタミンA、食物繊維」の基準値が増加され、「ナトリウム（食塩相当量）」の基準値が減少となった。

4 給食費の推移

(1) 第二、第三、第四学校給食センター (円)

| 年度 区分 | 17 | 18~20 | 21~25 | 26~ |
|----------|-----|-------|-------|------------|
| 小・低学年 | 232 | 237 | 252 | 260 |
| 小・高学年 | 253 | 258 | 273 | 281 |
| 中学校 | 294 | 299 | 314 | 323 |

(2) 戸隠学校給食共同調理場 (円)

| 年度 区分 | 17 | 18~20 | 21~25 | 26~ |
|----------|-----|-------|-------|------------|
| 小・低学年 | 245 | 245 | 255 | 263 |
| 小・高学年 | 255 | 260 | 270 | 278 |
| 中学校 | 280 | 285 | 300 | 309 |

(3) 鬼無里学校給食共同調理場 (円)

| 年度 区分 | 17~20 | 21~25 | 26~ |
|----------|-------|-------|------------|
| 小・低学年 | 245 | 255 | 263 |
| 小・高学年 | 260 | 270 | 278 |
| 中学校 | 290 | 300 | 309 |

(4) 大岡学校給食共同調理場 (円)

| 年度 区分 | 17 | 18~20 | 21~25 | 26~ |
|----------|-----|-------|-------|------------|
| 小・低学年 | 240 | 245 | 255 | 263 |
| 小・高学年 | 250 | 255 | 270 | 278 |
| 中学校 | 287 | 290 | 300 | 309 |

(5) 信州新町学校給食共同調理場 (円)

| 年度 区分 | 17 | 18 | 19 | 20~ | 22~25 | 26~ |
|----------|-----|-----|-----|-----|-------|------------|
| 小・低学年 | 255 | 255 | 260 | 275 | 270 | 275 |
| 280 | | | | | | |
| 中学校 | 270 | 280 | 280 | 300 | 300 | 321 |

(6) 中条学校給食共同調理場 (円)

| 年度 区分 | 17~19 | 20~25 | 26~ |
|----------|-------|-------|------------|
| 小・低学年 | 240 | 250 | 263 |
| 小・高学年 | 260 | 270 | 278 |
| 中学校 | 290 | 300 | 309 |

5 給食費等内訳の推移

(1) 主食代の推移

これまでの価格の動向を考慮すると、今後も主食代の値上げが予想される。H31 年度 4 月から米飯の精米価格の値上げが決定している。

① 第二・第三・第四学校給食センター (円)

| | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|-------|--------------|-------|-------|-------|--------------|
| 小・低学年 | 47.24 | 46.68 | 47.48 | 48.59 | 49.99 |
| 小・高学年 | 52.42 | 50.97 | 52.11 | 53.35 | 54.98 |
| 中学生 | 57.10 | 55.25 | 56.31 | 57.67 | 59.50 |
| 平均 | 52.25 | 50.97 | 51.96 | 53.20 | 54.82 |

・ H26 年度から H30 年度にかけて、平均値で **2.57 円** 上昇している。

② 各学校給食共同調理場 (小中学校校平均値) (円)

| | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 戸 隠 | 34.87 | 33.65 | 34.48 | 35.66 | 36.17 |
| 鬼無里 | 36.20 | 34.79 | 35.28 | 36.48 | 37.48 |
| 大 岡 | 36.83 | 32.47 | 33.27 | 34.41 | 35.67 |
| 信州新町 | 52.25 | 50.20 | 51.13 | 52.37 | 53.94 |
| 中 条 | 35.28 | 33.04 | 34.00 | 35.15 | 36.44 |

(2) 牛乳代の推移

これまでの価格の動向を考慮すると、今後も牛乳代の値上げが予想される。

(円)

| H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|--------------|-------|-------|-------|--------------|
| 53.45 | 54.98 | 53.71 | 54.45 | 55.23 |

・ H26 年度から H30 年度にかけて、1.78 円上昇している。

(3) 副食代の推移 (給食費 - (主食代 + 牛乳代))

年々、主食代・牛乳代の価格が上昇しているため、副食に掛かる費用が減少している。

① 第二・第三・第四学校給食センター (小中学校校平均値) (円)

| H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|---------------|--------|--------|--------|---------------|
| 182.30 | 182.05 | 182.33 | 180.35 | 177.95 |

・ H26 年度から H30 年度にかけて、平均値で 4.35 円減少している。

② 各学校給食共同調理場 (小中学校校平均値) (円)

| | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 戸 隠 | 195.01 | 194.70 | 195.14 | 193.22 | 191.93 |
| 鬼無里 | 193.68 | 193.56 | 194.34 | 192.40 | 190.62 |
| 大 岡 | 193.05 | 195.88 | 196.34 | 194.47 | 192.43 |
| 信州新町 | 189.63 | 190.15 | 190.49 | 188.51 | 186.16 |
| 中 条 | 194.60 | 195.31 | 195.62 | 193.73 | 191.66 |

(4) 消費者物価指数の年度推移

品目：食料（長野市） 平成 27 年＝100

| H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30.9 |
|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| 95.0 | 95.2 | 95.4 | 94.2 | 94.7 | 98.5 | 100.4 | 101.8 | 102.7 | 104.9 |

6 副食食材について

(1) 副食食材価格の動向

副食に係る購入比率は、「野菜類、魚介類、肉類」の合計が全体の購入額の約 70%となる。

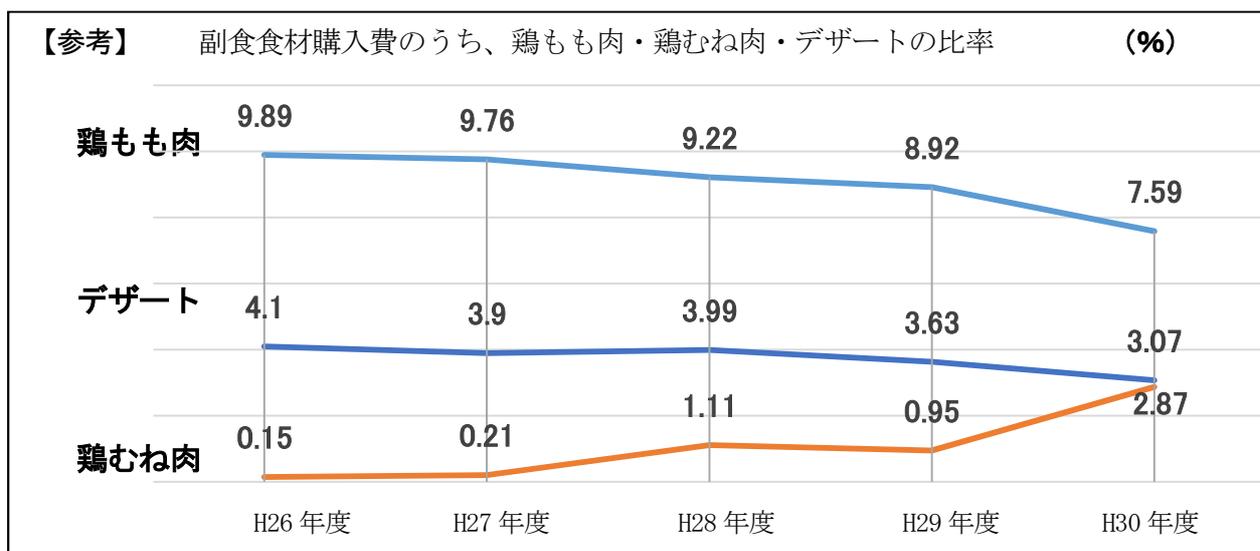
野菜の価格は、気候や災害により大きく左右される。平成 29 年度までの過去 2・3 年は、冬場の天候不良により 4 月～7 月が野菜の価格が高価であったが、平成 30 年度は豪雨や猛暑が続いたことが影響して 7 月から価格が上昇している。

魚介類に関しては、全体的に品薄となっている。そのため、給食で使用しやすい鮭・イカ・ホキの価格が上昇している。

(2) 学校給食摂取基準を満たすために調理場が行っている工夫

年々、副食に掛ける食材費が減少している中でも、低価格な食材を使用しながら栄養面を維持するよう、次のように献立等の工夫を行っている。

- ・野菜の価格が高騰しがちとなる冬場春先は、安価で安定して確保できる食材を選んで使用する
- ・サラダなどは単価の安い食材の量を増やす
- ・肉、魚の切り身を使う回数を減らし、煮物や炒め物などの献立回数を増やす
- ・鶏肉はもも肉よりむね肉を多く使用する
- ・他食材でたんぱく質を確保し、肉や魚の切り身の量を減らす
- ・デザートの手数を減らしたり、単価が安いデザートを選ぶ



7 学校給食共同調理場について

各学校給食共同調理場での仕入れ価格は、学校給食センターに比べると高価になっている。これは、数少ない地区内の事業者から納入できる食材に限られてしまうこと、また、地区外の事業者から納入する食材は、運搬費等が加算されて高価になるためである。

(円)

| | 学校給食センター | 学校給食共同調理場 | | | | | |
|------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 戸 隠 | 鬼無里 | 大 岡 | 信州新町 | 中 条 | |
| 野菜 | 玉ねぎ (1kg) | 135 | 162 | 140 | 230 | 162 | 141 |
| | キャベツ (1kg) | 157 | 194 | 160 | 298 | 194 | 152 |
| | にんじん (1kg) | 184 | 216 | 220 | 316 | 190 | 194 |
| | じゃがいも (1kg) | 259 | 313 | 170 | 405 | 300 | 341 |
| | きゅうり (1kg) | 351 | 486 | 540 | 640 | 454 | 423 |
| | 計【参考】 | 1,086 | 1,371 | 1,230 | 1,889 | 1,300 | 1,251 |
| 調味料等 | ひまわり油(一斗缶) | 4,482 | 4,860 | 4,860 | 4,860 | 4,860 | 4,860 |
| | パン粉 (2kg) | 810 | 902 | 902 | 902 | 902 | 902 |
| | 煮干し (1kg) | 1,674 | 1,890 | 1,890 | 1,890 | 1,890 | 1,890 |
| | 白いりごま | 582 | 626 | 626 | 626 | 626 | 626 |
| | 計【参考】 | 7,548 | 8,278 | 8,278 | 8,278 | 8,278 | 8,278 |
| 魚・肉 | さば切り身 (1kg) | 1,202 | 1,503 | 1,503 | 1,503 | 1,486 | 1,403 |
| | 鮭切り身 (1kg) | 2,037 | 2,488 | 2,488 | 2,488 | 2,438 | 1,703 |
| | 豚もも小間肉 (1kg) | 1,674 | 1,674 | 1,318 | 1,490 | 1,609 | 1,296 |
| | 鶏もも小間肉 (1kg) | 1,652 | 1,706 | 1,426 | 1,188 | 1,577 | 1,231 |
| | 計【参考】 | 6,565 | 7,371 | 6,735 | 6,669 | 7,110 | 5,633 |

※平成 29 年 4 月の価格 (さば切り身・鮭切り身は、平成 30 年 1 月の価格)

8 給食費改定の考え方

前述の通り、近年の食材価格は上昇しており、今後も更なる上昇が予想される。

| 消費者物価指数に基づく H31 年度給食費試算額 | |
|--|-----------------------------|
| ・第二・第三・第四学校給食センターの給食費をベースに計算している | |
| ・長野市消費者物価指数変動率は 1.065 倍 (≈ 104.9 (H30.9) $\div 98.5$ (H26)) | |
| ① 主食・牛乳代 | |
| 105.7 円 (H26 年度金額) | $\times 1.065$ 倍 = 112.57 円 |
| ② 副食代 | |
| 182.3 円 (H26 年度金額) | $\times 1.065$ 倍 = 194.15 円 |
| | 計 306.72 円 |
| ③ 引き上げ必要額 | |
| 306.72 円 (H31 年度予想) - 288 円 (H30 年度給食費) | = <u>18.72 円</u> |

これまで、主食・牛乳の増額分を低価格の食材の使用や献立の工夫などにより副食分で吸収してきたが、近年の価格の上昇や学校給食摂取基準の改定でエネルギー等の基準値が増加されたことにもしっかり対応する必要がある。

また、学校給食共同調理場においては、配送等の問題から多くの食材価格が学校給食センターを上回っていることから、市内全域で同水準の完全給食を実施していくためには、学校給食センターと同程度の額まで引き上げが必要と考える。

平成 26 年からの消費者物価指数の上昇による今後の主食・牛乳・副食代の上昇を見込むと、学校給食センターの単価による試算では 18.72 円の値上げが必要と考えるが、保護者の負担にも十分配慮する必要があるため、今後も献立を工夫するなど努力を継続することで次表のとおり改定してまいりたい。

なお、平成 31 年（2019 年）10 月からの消費税率引き上げは、様々な原材料価格や輸送費等に影響を及ぼし、食材価格にも影響が出ることが心配されるが、具体的な影響額は算出できていないため加算はしていない。

改定額（1食単価）

| | 区分 | H21(※1) | H26 | H31.4～ | 増加額 (円) | 増加率 (%) |
|-------------------|-------|----------|-----|------------|------------|------------|
| ①学校給食 センター | 小・低学年 | 252 | 260 | 275 | 15 | 5.8 |
| | 小・高学年 | 273 | 281 | 296 | 15 | 5.3 |
| | 中 学 校 | 314 | 323 | 338 | 15 | 4.6 |
| ②信州新町 | 小・低学年 | 270 | 275 | 275 | 0 | 0 |
| | 小・高学年 | 280 | 290 | 296 | 6 | 2.1 |
| | 中 学 校 | 300 | 321 | 338 | 17 | 5.3 |
| ③戸隠・鬼無 里・大岡・中条 | 小・低学年 | (※2) 255 | 263 | 275 | 12 | 4.6 |
| | 小・高学年 | 270 | 278 | 296 | 18 | 6.5 |
| | 中 学 校 | 300 | 309 | 338 | 29 | 9.4 |

(※1) 信州新町は H22 年度に改定しているため H22 年度の金額

(※2) 中条については 250 円